

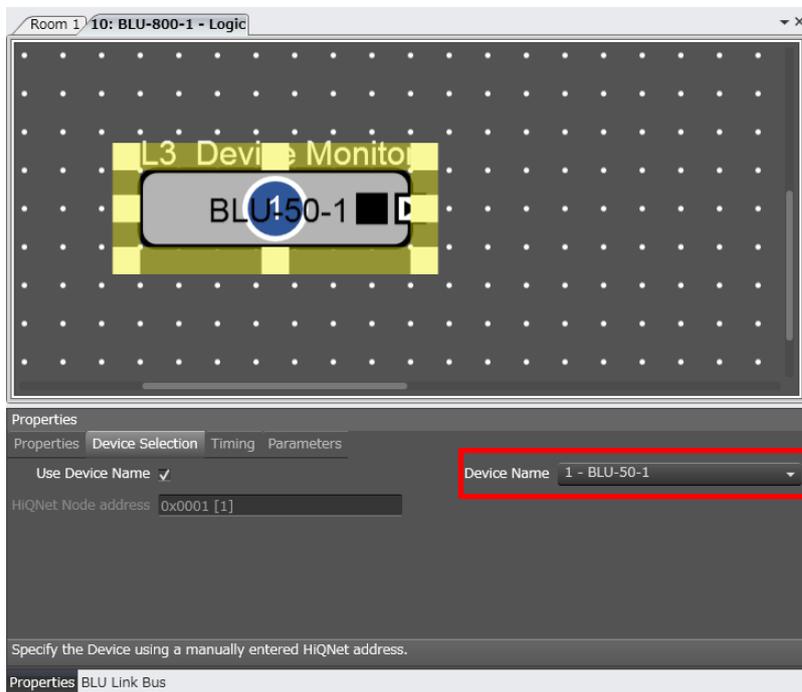
ネットワーク上のデバイス疎通状態をモニターする方法

Logic オブジェクト「Device Monitor」を使うことで、ネットワーク上の各デバイスが正常に接続されているかどうか確認することができます。



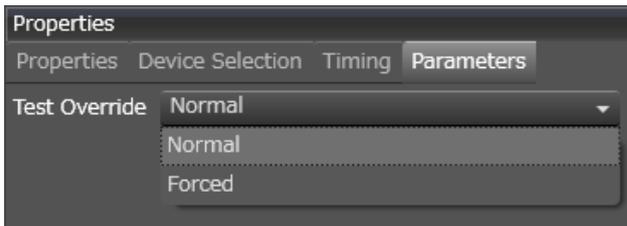
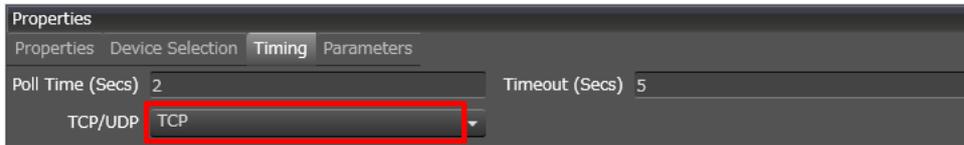
例として「BLU-50」の疎通状態確認をし、疎通が取れない場合（ネットワークから切り離された、あるいはデバイス本体の電源が OFF になった場合）、同じネットワーク上の「BLU-800」から GPIO で外部の LED を点灯させます。

（注）デバイス間の疎通確認ですが、デバイスの起動途中や、デバイスが接続しているスイッチやハブのエラーにより LED が光ることがあります。



Logic オブジェクト「Device Monitor」を選択し、下側のプロパティ画面-「Device Selection」 「Device Name」から、疎通確認したいデバイスを選択します。

疎通確認するためのプロトコルを指定します。今回は TCP を選択します。



プロパティ画面-「Parameters」は通常「Normal」を選択しますが、動作チェックの為に「Forced」を選択し、擬似的に疎通が取れない状態を再現できます。

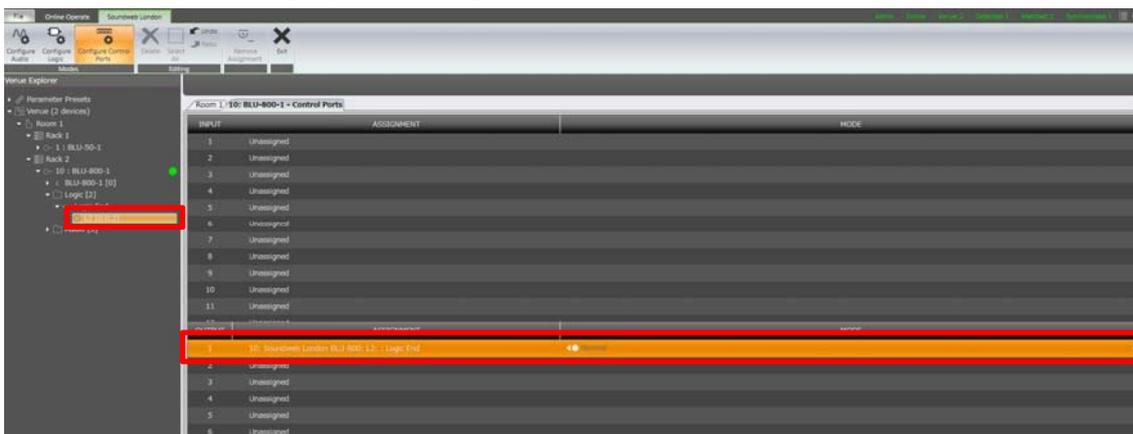
この「Device Monitor」オブジェクトは疎通が取れる場合「1」を出し続けます。



ほかのオブジェクトは「1」を受けた時に動作するものが多いため、Logic オブジェクト「NOT」を使用して「0」と「1」を反転させます。



これで「BLU-50」との疎通確認が出来ない場合に、「1」が出るようになりました。この上記「Logic End」を「BLU-800」のGPOヘアサインします。



上記の様に、「BLU-800」GPOの①ヘドラック&ドロップすることで、指定した「BLU-50」の疎通が取れない場合、①番ピンから5Vを出力します。

別途カスタムパネルに上記「Logic End」とリンクしたLEDオブジェクトを設定すると、指定した「BLU-50」の疎通が取れない場合、カスタムパネル上のLEDを点灯させることができます。

